

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発 生 日

発生 令和5年4月13日(木) 速報 令和5年4月14日(金)

2 患 者 数

1名 (女、20代)

3 概 要

(1)経 過

4月 8日(土) 患者(岡山市)は、腹痛及び軟便の症状を呈した。

4月11日(火) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(病院)を受診し、入院。

4月13日(木) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるペロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者は入院中だが、症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参 考(患者発生状況)

区 分	令和5年1月1日から
岡 山 市	3 人
県内(岡山市を除く。)	5 人
県 内 合 計	8 人

(岡山市の前年同時期の発生状況:1人)

◎ 報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 森・山本 直通086-803-1251 内線5751